

インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイーजीインストールガイドに載せられています。更に詳細な内容については**オンラインユーザーズマニュアルが Bonus Pack CD ディスクに付属しています**。地球の環境保護へのご協力に感謝いたします。

付属品チェックリスト

- ✓ **ATA/66 IDE ケーブル 1 本**
- ✓ **ハードドライブ IDE ケーブル 1 本**
- ✓ **フロッピードライブケーブル 1 本**
- ✓ **Bonus Pack CD ディスク 1 枚**
- ✓ **オンラインマニュアル x1 セット**
- ✓ **当イーजीインストールガイド 1 式**

JP6 / JP7 温度感知

最近の機能の向上に伴い、CPU、VGA カード、HDD 等、システム中のコンポーネントから生じる熱も増大しています。これらはシステムの安定性に関する主要なコンポーネントです。温度検知機能により、希望するコンポーネントの温度を検知する外部センサを、必要に応じて簡単に設置できます。

例として、CPU とヒートシンク間の隙間に薄片センサを差しこむことで、正確な温度モニタが可能で



1	2		
1	アース		
2	センサ		

JP14 による CMOS クリア



通常操作時
(デフォルト)



CMOS クリア時

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ CN5 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ CN5 に差します。



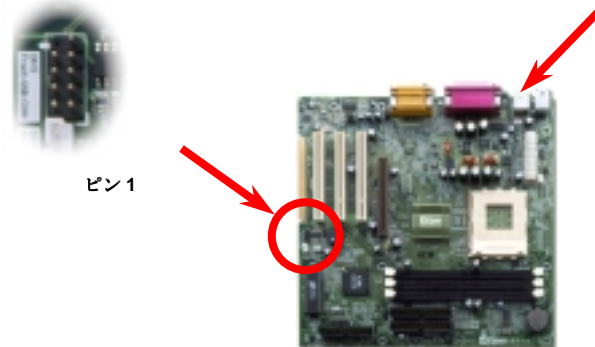
ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

USB ポート 4 基をサポート

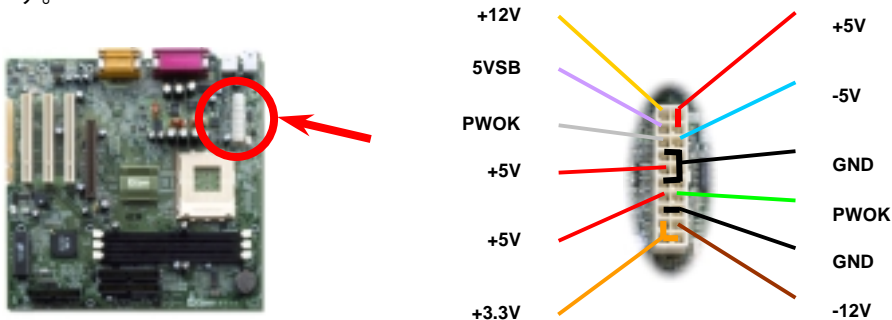
このマザーボードには 4 基の USB ポートが装備されています。うち 2 基は後部パネルコネクタ、残り 2 基はマザーボード左下方向に設置されています。対応するケーブルにより、前部パネルに接続します。

10	9
NC	NC
GND	GND
+3D	+2D
-3D	-2D
+5V	+5V
2	1



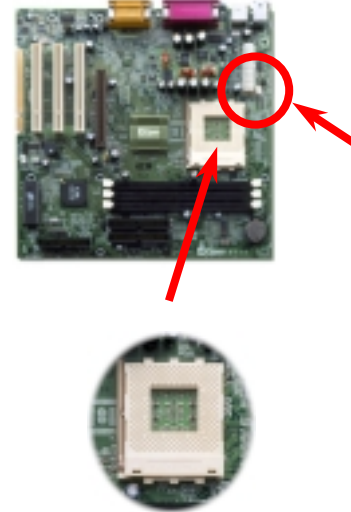
ATX 電源コネクタ

ATX 電源装置は下記の 20-ピンコネクタを使用します。プラグの方向に注意して差しします。

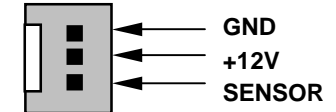


警告: For ATX システムではマザーボードにスタンバイ電流が常時加わっています。CPU, DIMM, PCI, AGP カード等の抜き差しを行なう際は、ATX 電源ケーブルをコネクタから必ず抜いてください。そうしないと、コンポーネントに重大な支障をきたす可能性があります。

CPU およびファンのインストール



CPU を AMD Socket 462 コネクタに差しします。CPU の方向にご注意ください。ファンのケーブルは 3-ピンの **CPUFAN** または **FAN** コネクタに差しします。



メモ: CPU ファンによってはセンサ用ピンがないものもあります。この場合、ファンのモニタ機能は使用できません。

CPU コア電圧フルレンジ自動検出機能

このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧は自動検出され、1.1V~1.85V の範囲で調整可能です。

サポートされる CPU クロック

コアクロック = CPU FSB クロック * CPU レシオ

EV6 バスクロック = CPU バスクロック x 2

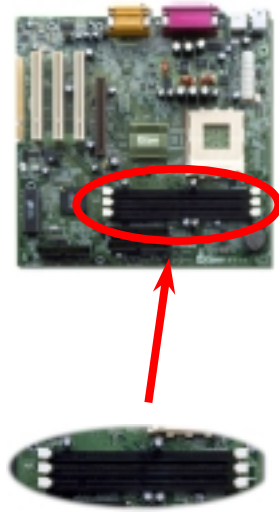
PCI クロック = CPU バスクロック / クロックレシオ

AGP クロック = PCI クロック x 2

CPU	CPU コアクロック	EV6 バスクロック	レシオ
Athlon 600	600 MHz	200 MHz	6x
Athlon 650	650 MHz	200 MHz	6.5x
Athlon 700	700 MHz	200 MHz	7x
Athlon 750	750 MHz	200 MHz	7.5x
Athlon 800	800 MHz	200 MHz	8x
Athlon 850	850 MHz	200 MHz	8.5x
Athlon 900	900 MHz	200 MHz	9x
Athlon 950	950 MHz	200 MHz	9.5x
Athlon 1000	1000 MHz	200 MHz	10x
Duron 600	600 MHz	200 MHz	6x
Duron 650	650 MHz	200 MHz	6.5x
Duron 700	700 MHz	200 MHz	7x
Duron 750	750 MHz	200 MHz	7.5x

システムメモリの設定

このマザーボードには 168 ピン DIMM ソケットが 3 つ装備されているので最大 1.5GB のシステムメモリが搭載可能です。SDRAM および VCM SDRAM がサポートされています。

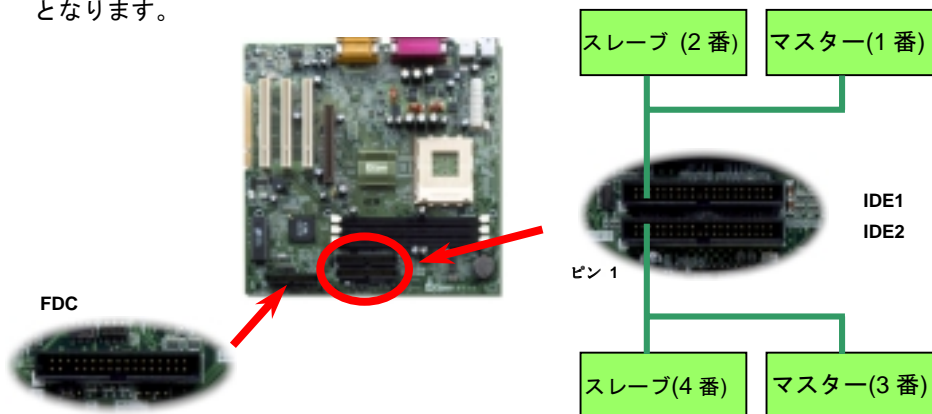


DIMM1
DIMM2
DIMM3

ヒント: 新世代のチップセットの動作性能はメモリバッファ (性能改善に使用) の不足により頭打ちになることがあります。それで DIMM インストール時には DRAM チップが重要な役割を果たします。残念ながら BIOS には正確なチップ数を検出する手段はないので、チップ数は目視で確認することが必要です。それで**目安としては、目視が可能な範囲で、DIMM を 16 チップ以内にするとよいでしょう。**

IDE およびフロッピーケーブルの接続

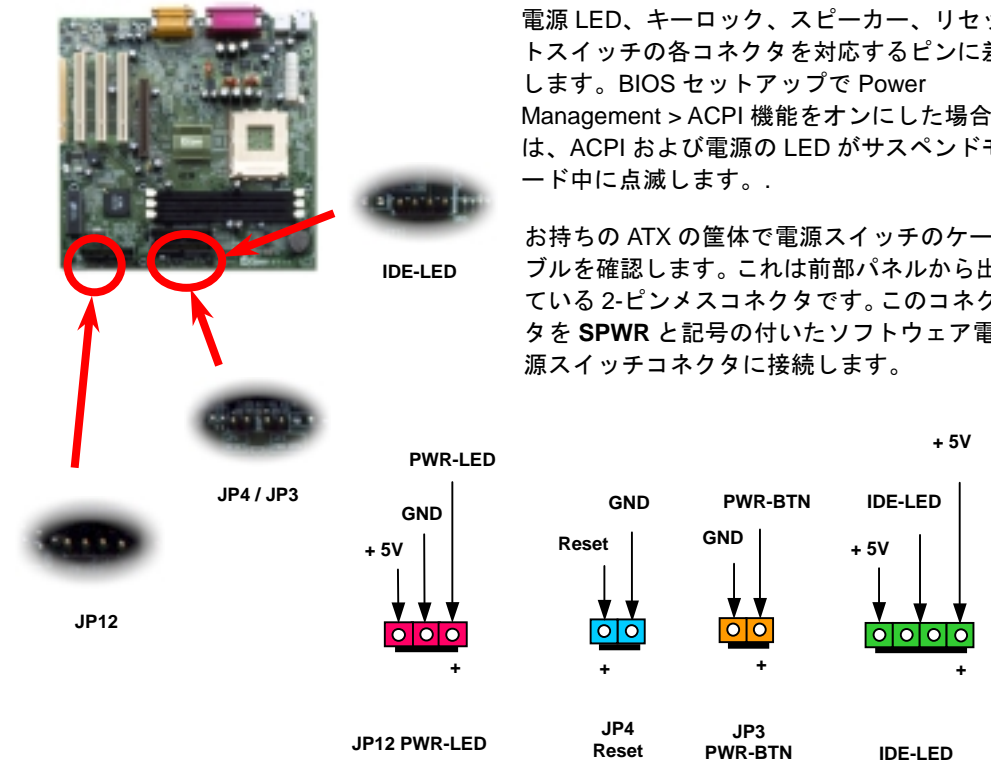
34-ピンフロッピーケーブルおよび 40-ピン IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDC および IDE コネクタ **IDE1**, **IDE2** に接続します。ケーブルのピン 1 は通常赤色になっています。ピン 1 の方向に注意してください。方向を間違えると、システムの故障の原因となります。



前部パネルケーブルの接続

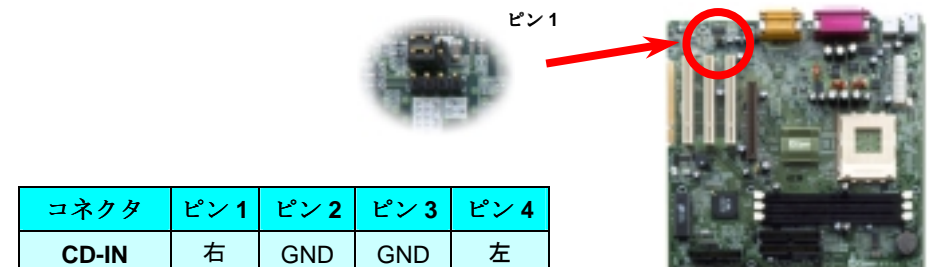
電源 LED、キーロック、スピーカー、リセットスイッチの各コネクタを対応するピンに差します。BIOS セットアップで Power Management > ACPI 機能をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを **SPWR** と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。



CD オーディオの接続

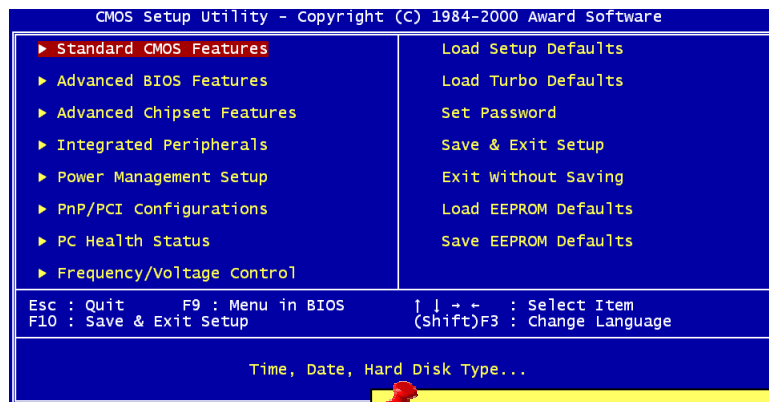
このコネクタは CDROM または DVD ドライブからの CD オーディオケーブルをオンボードのサウンドに接続するのに使用します。



電源オンおよび BIOS セットアップのロード

Del

ジャンパー設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには **POST (電源オン時のセルフテスト)**中にキーを押します。"Load Setup Defaults"を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。



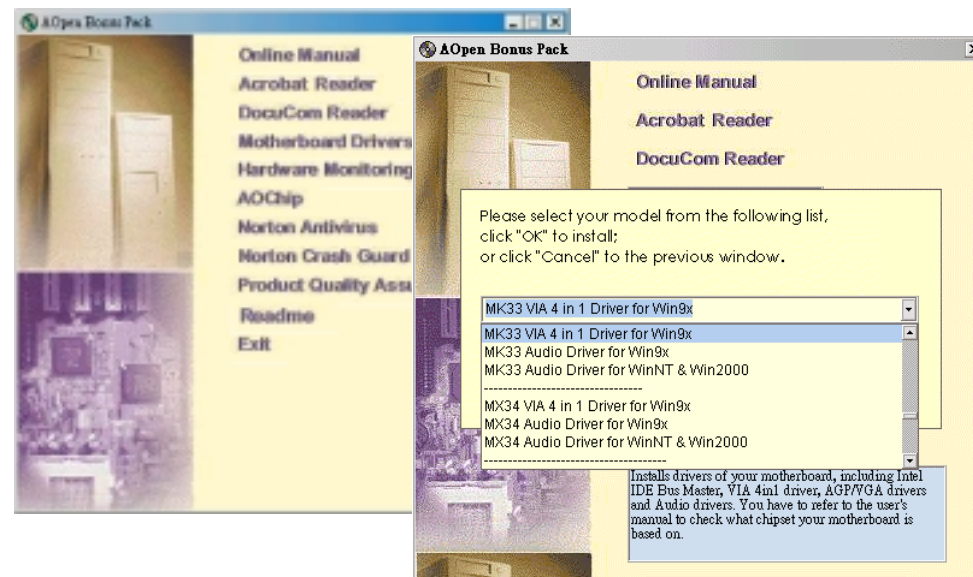
警告: ご使用のシステムコンポーネント (CPU, DRAM, HDD 等)がターボ設定の必要条件を満たしていることが明らかでない場合は"Load Turbo Defaults"を選ばないでください。

Windows 98 のインストール

1. インストール前には AGP カード以外にはアドオンカードを差さないでください。
2. 以下の操作 BIOS Setup > Advanced Chipset Features > OnChip USB, で USB を有効にして、BIOS が IRQ 割り当てを完全にサポートするようにします。
3. Windows 98 をインストールします。
4. VIA 4 in 1 ドライバをインストールします。これには VIA AGP Vxd ドライバ、IRQ ルーティングドライバ、VIA チップセット機能レジストリプログラムが含まれています。
5. 終わりにその他のアドオンカードおよびそのドライバをインストールします。

Bonus CD ディスクからのオートランメニュー

Bonus CD ディスクのオートランメニューが使用可能です。必要なユーティリティを選び、ドライバ、型式名を指定します。



Windows 95 のインストール

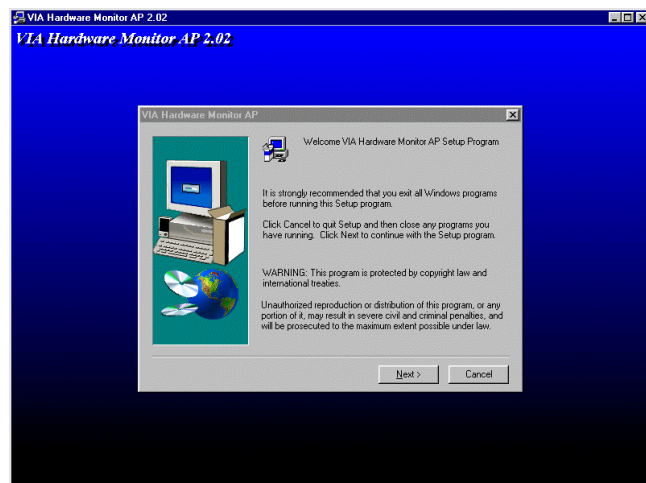
1. インストール前には AGP カード以外にはアドオンカードを差さないでください。
2. Windows 95 OSR2 v2.1, 1212, 1214 バージョンまたはそれ以降の USB サポートバージョンをインストールします。これら以外であれば USBSUPP.EXE をインストールする必要があります。
3. VIA 4 in 1 ドライバをインストールします。これには VIA AGP Vxd ドライバ、IRQ ルーティングドライバ、VIA チップセット機能レジストリプログラムが含まれています。
4. 終わりにその他のアドオンカードおよびそのドライバをインストールします。

Windows NT のインストール

VIA 4 in 1 ドライバのインストールは必要ありません。NT のインストールガイドに従って操作し、アドオンカードもインストールします。

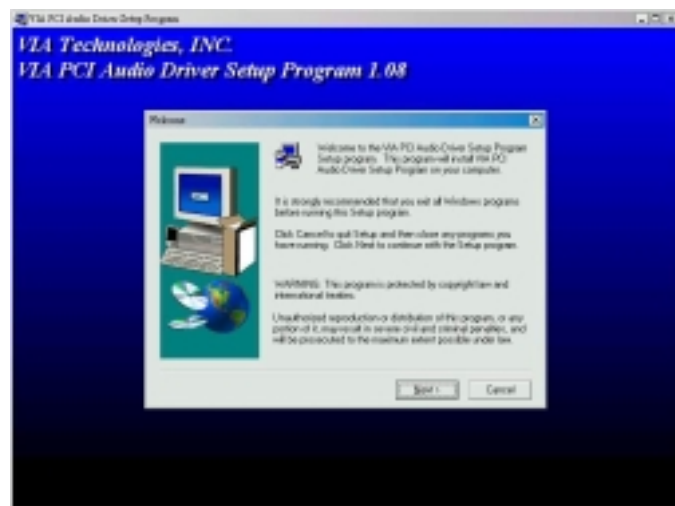
VIA 4 in 1 ドライバのインストール

VIA 4 in 1 ドライバ(IDE Bus マスター、VIA AGP、IRQ ルーティングドライバ、VIA レジストリ)は Bonus Pack CD ディスクのオートランメニューよりインストール可能です。



オンボードサウンドドライバのインストール

このマザーボードには AD 1885 AC97 CODEC が装備され、サウンドコントローラーは VIA South Bridge チップセットに含まれています。オーディオドライバは Bonus Pack CD ディスクのオートランメニューから確認できます。



Windows 98 SE および Windows2000 のインストール

Windows® 98 Second Edition または Windows2000 をご使用の場合、IRQ ルーティングドライバおよび ACPI レジストリは既にシステムに組み込まれているので、4-in-1 ドライバのインストールは不要です。Windows® 98 SE ユーザーは、IDE Busmaster および AGP ドライバを個別にインストールすることでアップデートします。

最新バージョンの 4-in-1 ドライバについては [VIA Technologies Inc.](http://www.via.com/) のサイトをご覧ください。

<http://www.via.com/>

<http://www.via.com/drivers/4in1420.exe>

BIOS のアップグレード

「AOpen イージーフラッシュ」は従来のフラッシュ操作に比べてさらにユーザーフレンドリーな設計になっています。BIOS バイナリファイルとフラッシュルーチンが一緒になっているので、フラッシュ操作には 1 つのファイルを実行するだけで十分です。

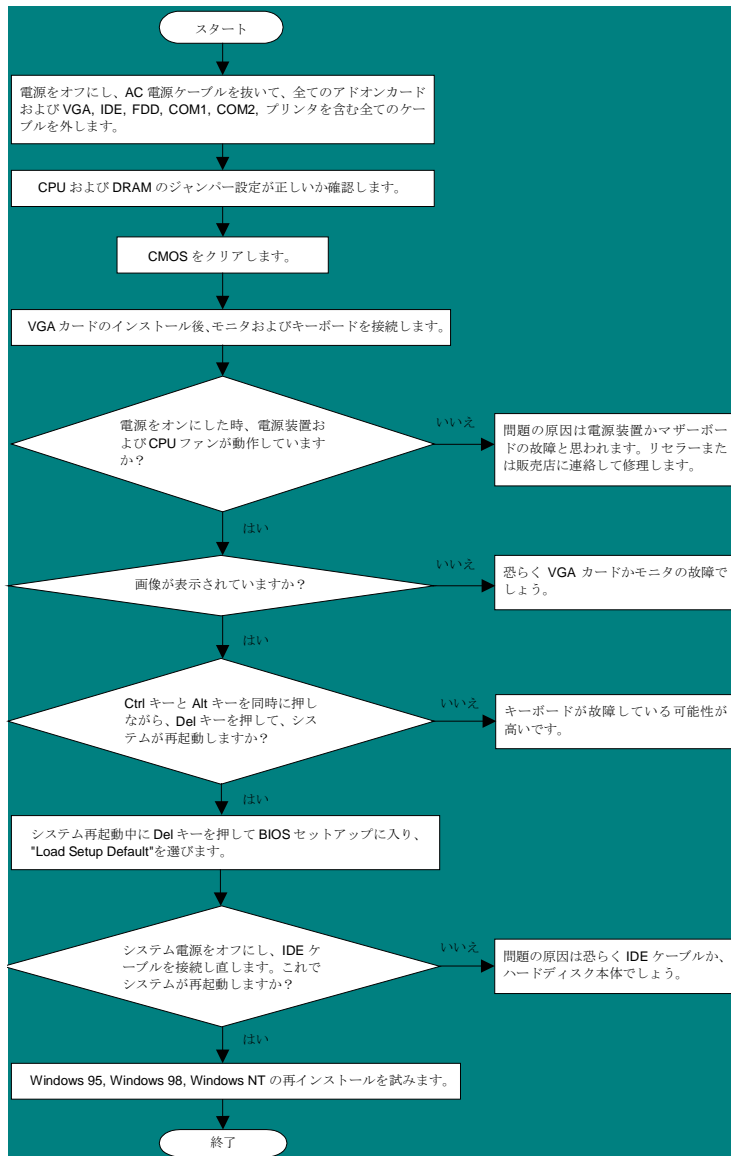
1. 新しい BIOS アップグレードプログラムを AOpen のウェブサイトからダウンロードします。例えば、MK33P109.EXE があります。エラー修復のためには DOS 起動フロッピーディスクにこのファイルをセーブしておくことをお勧めします。
2. メモリマネージャ(EMM386 等)をロードせずに DOS モードで再起動します。これには約 520K の空きメモリが必要です。
3. ファイルを実行します。 A:> MK33P109
フラッシュ操作中は電源を絶対オフにしないでください。
4. システムを再起動し、キーを押して BIOS セットアップに入ります。ここで "Load Setup Defaults"を選び、"Save & Exit Setup"を選べと完了です。

ご注意：新しい BIOS へのアップグレードにより、本来の BIOS 内容は完全に書き換えられます。本来の BIOS 設定および Win95/Win98 のプラグアンドプレイ情報はリセットされるのでシステムの再設定が必要になるでしょう。



トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた際は、以下の手順で問題を解決します。



パーツ番号およびシリアル番号

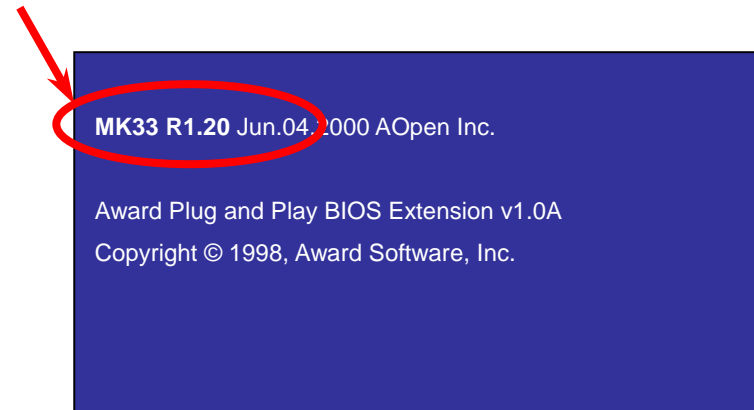
パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。ラベルは包装の外側、ISA/CPU スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下が一例です。



P/N: 91.88110.201 がパーツ番号で、S/N: 91949378KN73 がシリアル番号です。

型式名および BIOS バージョン

型式名および BIOS バージョンは最初の起動画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下が一例です。



MK33 がマザーボードの型式名で、R1.20 が BIOS バージョンです。



テクニカル サポート

お客様各位,

この度は AOpen 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら毎日いただく E メールおよび電話のお問合せが世界中から無数にあり、全ての方にタイムリーなサポートをご提供いたすのは困難を極めております。弊社にご連絡になる前に下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供させていただけます。

皆様のご理解に深く感謝いたします。

AOpen テクニカルサポートチーム一同

ウェブサイト : <http://www.aopen.com>

E メール : 下記のご連絡フォームをご利用になりメールでご連絡ください。

英語 <http://www.aopen.com.tw/tech/contact/techusa.htm>

日本語 <http://aojp.aopen.com.tw/tech/contact/techjp.htm>

中国語 <http://w3.aopen.com.tw/tech/contact/techtw.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/contact/techde.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/contact/techcn.htm>

電話:

米国 650-827-9688

オランダ +31 73-645-9516

中国語 (86) 755-375-3013

台湾 (886) 2-2696-1333

ドイツ +49 (0) 2102-157-700

1

オンラインマニュアル: マニュアルをよくご覧になり、ジャンパー設定およびインストールの手順が正しいことをご確認ください。

<http://www.aopen.com.tw/tech/download/manual/default.htm>

2

テストレポート: PC 組立てには、互換性テストレポートから board/card/device の部分をご覧ください。

<http://www.aopen.com.tw/tech/report/default.htm>

3

FAQ: 最新の FAQ (よく尋ねられる質問) からトラブルの解決法が見つかるかもしれません。

<http://www.aopen.com.tw/tech/faq/default.htm>

4

ソフトウェアのダウンロード: 下表からアップデートされた最新の BIOS またはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。

<http://www.aopen.com.tw/tech/download/default.htm>

5

ニュースグループ: 発生したトラブルの解決法が、ニュースグループに掲載されたサポートエンジニアまたはシニアユーザーのポスティングから見つかるかもしれません。

<http://www.aopen.com.tw/tech/newsgrp/default.htm>

6

販売店、リセラーへのご連絡: 弊社は当社製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定およびそのトラブルに対して先方が弊社より明るい可能性があります。また先方のユーザーへの対応の仕方が、次回に別の製品をお求めになる際の参考ともなるでしょう。

7

弊社へのご連絡: ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOS バージョンも大変参考になります。